

NPO法人アジアの野球を支援する会



理事長 徳永政夫（北九州市立大学教授）

2012年第3回WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）のタイ王国代表チームを率いて、アジア予選の監督に就任するという機会をいただきました。その際にミャンマー、インドネシアなどのいわゆる野球後進国との試合を行いました。彼らのおかれている環境は、日本では想像つかないほど恵まれていませんでした。

日本に帰国して、彼ら東南アジア諸国の野球支援について研究を行い、NPO法人を設立することにしました。



2012年第3回WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）のタイ王国代表チーム

NPO法人アジアの野球を支援する会は、アジア諸国における野球後進国の人々に対して、グラウンドなどの環境面の整備や用具の支援に関する事業を行うとともに、野球等スポーツを通じた国際交流事業を行い、日本とアジア諸国との相互の理解や認識を深め、国際的な野球の発展並びに友好と親善に寄与することを目的に、次に掲げる特定非営利活動事業を行います。

- ① 野球用具等の支援に関する事業
- ② 野球情報の収集・提供事業
- ③ 野球関係者との国際交流（派遣・招請・交流試合等）に関する事業
- ④ 野球の普及に関するイベントの企画・運営事業

趣旨にご賛同いただき、ご支援いただける方は、この会へご入会下さい。入会については次の3つの中よりお選びください。

- ①一般会員（積極的運営参加者） ②法人会員（支援企業会員） ③賛助会員（金品支援者）

会員申込先

アジアの野球を支援する会事務局 担当理事 立石雄二 電話番号090-4584-9586

NPO法人アジアの野球を支援する会

2014.8.1 タイ代表チームに皆様よりお預かりいたしました野球用具を届けることができました。

劣悪な環境でも、懸命に練習に取り組む選手達に心を洗われ、充実した合宿生活を送ることができましたのも、九州の各大学野球連盟の皆様の格別なご支援のおかげでございます。

心よりお礼申し上げます。

北九州市立大学 徳永政夫



僅かですが、東南アジアの現状と寄贈いただいた野球用具を届けた写真をご覧ください。



NPO法人アジアの野球を支援する会



(上右) これらのボールは、九州六大学野球連盟を中心にご寄贈いただいた約50ダースの使用球です。
(上左) ボール拭きに参加してくれた北九大野球部のマネージャー(右・左)と柴崎会員(中央)です。
(下) ボール拭きをする徳永理事長(左2) 中別府副理事長(中央) 立石事務局長、(左) 隅川理事(右)
*このボールは、すべて「ミネベア株式会社」様のご協力により、一旦タイへ運ばれ、東南アジアの各野球チームへ寄付します。

